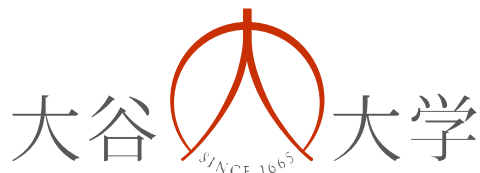


報道関係者 各位



取材のお願い

2011年11月30日

大谷大学博物館 2011年度冬季企画展
特別陳列「新発見 久多の木造五輪塔」
記者説明会の開催について

謹啓 平素は、本学の教育・研究活動に格別のご理解を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、本学博物館では、例年12月に冬季企画展を開催しています。今回の冬季企画展では、久多の志古淵神社で発見され、本学で基礎調査を行っていた木造の五輪塔と『大般若波羅蜜多經』（京都市指定文化財、2007年9月リリース済）の特別陳列を行うこととなりました。

つきましては、記者の方を対象にしました五輪塔の基礎調査についての説明会を下記のとおりで開催させていただきます。また、説明会終了後に冬季企画展特別陳列の内覧会も実施いたします。

なお、ご出席いただける場合は、資料等の準備の都合上、お手数ではございますが企画課までご連絡くださいますようお願い申しあげます。

謹白

記

特別陳列「新発見 久多の木造五輪塔」 記者説明会

- | | | |
|--------|-----------------------|-----------------------------------|
| 1. 日 時 | 2011年12月12日（月） | 16:00～17:00 |
| 2. 会 場 | 演習室1（大谷大学 響流館3階） | |
| 特別陳列会期 | 2011年12月13日（火）～17日（土） | ※会期中無休
10:00～17:00（入館は16:30まで） |

以 上

<報道関係者／お問い合わせ先>
大谷大学企画課【植垣・窪田・兵頭】
電話 075-411-8115 FAX 075-411-8149

特別陳列「新発見 久多の木造五輪塔」

京都市左京区の北端、滋賀県に接する久多は、古く平安時代の藤原道長の創建した法成寺領としてみえ、連綿と独自の文化を今に伝えていきます。なかでも8月におこなわれる花笠踊りは国の重要無形文化財に指定され、その文化の高さの一端をうかがわせます。また、花笠踊りの拠点でもある志古淵神社に保管され、現在、本館に寄託されている鎌倉時代前期の『大般若波羅蜜多經』は文化財として高い評価を受け、昨年4月に京都市指定文化財となりました。その後、志古淵神社に木造の五輪塔が保管されていることが新たに確認され、本館に寄託されるにいたりました。本館では、この五輪塔の基礎調査をすすめてまいりましたが、その結果、五輪塔の遺品としてきわめて重要なものであり、制作時期が平安時代にさかのぼる可能性の高いものであることが判明しました。

つきましては、短期間ではありますが、特別陳列「新発見 久多の木造五輪塔」として、五輪塔と『大般若波羅蜜多經』の代表的なものを展示することになりました。

◎木造五輪塔の概要

〈材質・形状・法量〉

- ・檜材の芯部分で制作され、五輪（空輪・風輪・火輪・水輪・地輪）に方形の基壇部分があり、法量は高さ約30cm（含む基壇部）、幅・奥行き共に約8cm（基壇部）。

〈墨書〉

- ・五輪（空輪・風輪・火輪・水輪・地輪）の四面に種字（梵字）が記されている。基壇分の四面にも人名・経文などの墨書があり、そのうち平安時代後期、12世紀に該当する年紀が記される。

〈納入品〉

- ・X線透視によって、空輪・地輪・基壇部に納入品があることが判明した。地輪と基壇部の納入品は人毛あるいは紙片のようなものである可能性がある。空輪の納入品は、直径5、6mm程度の球体と認められ、水晶や真珠といった可能性がある。

〈伝来〉

- ・伝来については、不明な点が多いが、京都市指定文化財『大般若波羅蜜多經』と同じく、「堂の谷」にあった尼寺に所在したものが、のち志古淵神社に移されたと伝える。

◎注目される点

- ・基壇部にみえる年紀によれば、年紀のある瓦と搬出して年代が推定される現存最古の五輪塔（泥塔・重要文化財）に次ぐ古さで、年紀のあるものとしては現存最古の五輪塔となる。
- ・基壇部の墨書の人名には、近隣の左京区花背原地町所在の峰定寺（12世紀創建 鳥羽天皇勅願 藤原通憲・平清盛が造営担当）にかかわる人物と同名がみられる。
- ・空輪・地輪・基壇部に納入品が存在する。

記

会期	2011年12月13日（火）～17日（土）	5日間
休館日	会期中無休	
時間	10:00～17:00（入館は16:30まで）	
観覧料	一般・大学生 200円	高校生以下 無料

以上